

ふくおか & MAFF

2024.1
Vol.55

2024年1月22日発行

MAFFとは農林水産省の英語表記「Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries」の略称です。

Contents

- 「農業女性をHAPPYに」 Happy Farming (いっちゃんい福岡)
- 株式会社 筑前町ファーマーズマーケットみなみの里 が「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」に選定されました
- 有機農業の取組が拡大中 ～みどりの食料システム戦略本部での報告より～

「農業女性をHAPPYに」 Happy Farming (いっちゃんい福岡)

#はぴふあむ

「Happy Farming (いっちゃんい福岡)」(通称:はぴふあむ、代表:池上 祥子氏(大木町)、メンバー数:16名)は、農林水産省が推進する農業女子プロジェクト*のメンバーを中心に構成する福岡県の女性農業者グループです。はぴふあむの活動の目的や内容(3つのチーム活動)、成果についてお話を伺いました。

*HP→<https://nougyoujoshi.maff.go.jp/>

チームFarmingマルシェ

メンバーを募り、自ら栽培した農産物や加工品をマルシェで販売しています。

行政機関や企業からの出店依頼もあり、様々な方との繋がりが広がっています!



マルシェへの出店



「農業女性をHAPPYに」をモットーに活動しています!

チームFarming広報

はぴふあむの活動をHP、SNSで発信しています。中村学園大学の学生とのコラボでは、メンバーの農場で学生が農作業体験する様子をYouTubeで配信予定です。お楽しみに!



大学生とのコラボ(農作業体験)

新規メンバー大募集!

幅広い世代が参加するはぴふあむと一緒にHappy Farmingライブを過ごしませんか?

参加希望はHPから↓

はぴふあむHP

<https://happyfarming.wixsite.com/sitetop>

はぴふあむYouTubeチャンネル↓

<https://www.youtube.com/@happyfarming461>



みやま市バイオマスセンター
ルプランでの研修会
撮影日:令和5年11月

チームFarmingキラスキ

女性や人としての学びをテーマに研修を行っています。昨年11月は、久々にみんなで集まって研修会を開催!メンバー手作りのランチ会も行い、充実した1日になりました!

はぴふあむメンバーの皆さん 撮影日:令和5年11月
(前列左から3人目が池上代表)

ランチ会やメンバー同士での

プチマルシェ等を行うときは農業女子ならではの仕事や家庭のことで話がはずみます。それがきっかけで新たなアイデアが生まれることがあります。

今後も「無理なくやれることをやる」を基本に、「はぴふあむ」らしい活動を行っていきます!

取材へのご協力ありがとうございました!

※写真の一部ははぴふあむご提供

記事作成担当:九州農政局福岡県拠点地方参事官室 安永、石井

株式会社 筑前町ファーマーズマーケットみなみの里が「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」に選定されました

農林水産省及び内閣官房が、地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良な事例を選定する「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」*。第10回選定に九州から唯一選定された同社の活動と成果を紹介します！ *詳細はこちら→<https://www.discovermuranotakara.com/>

同社は、直売所、町産米や大豆の加工所、農村レストラン、弁当・パン工房を運営。スーパー等にはない「ここにしかないもの」にこだわり、オープン以来15年、農村レストランでかまど炊きごはんを提供。

この他、かまど炊きごはんや伝統食が入った弁当やごはんに向かない形状の米（くず米）を活用した米粉パンを製造・販売。



筑前町ファーマーズマーケット みなみの里

- ・平成21年4月に設立。
- ・直売所の出荷者（455名）は筑前町内の農業者に限定。若い世代も増加。
- ・従業員は、定年退職後の再就職先として勤めている方が多数。前職での経験を活かして活躍中。



かまど炊きの様子

夏の暑い日のかまど部屋は40度以上になるそうです。

みなみの里HP ↓

<http://chikuzen-minaminosato.jp/>



総理大臣官邸で行われた交流会の様子（令和5年12月20日）

交流会では、同社代表である筑前町の田頭町長（右）から、岸田総理大臣に取組内容を説明されました。

成果

○町産米の消費拡大に貢献

同社の売上（令和4年度は約8.2億円）のうち、町産米を使うレストランと弁当・パン工房の売上が2割を占めるまでに拡大

○農業者の所得向上に寄与

地元の農業者から仕入れる弁当の材料代が、約450万円（平成21年）→約1,100万円（令和4年）に増加

記事作成担当：九州農政局福岡県拠点地方参事官室 中山

受賞者の声 ～ みなみの里館長 福丸 未央 様 ～

オープン当初やコロナ禍など厳しい時期もありましたが、従業員が中心となってアイデアを出し合いながら工夫を続けて乗り越えてきました。

外部から評価されることが一番嬉しく、みんなで地道に続けてきた取組に光を当てていただき感謝しています。



選定証授与式（令和5年12月8日）
（中央：田頭町長、右：福丸館長）

有機農業の取組が拡大中 ～みどりの食料システム戦略本部での報告より～

令和5年12月22日の第13回本部（本部長 農林水産大臣）で、みどり戦略に基づく取組の進捗状況*が報告されました。有機農業に関しては、オーガニックビレッジが43道府県92市町村まで拡大、また、「地域の学びの場」として福岡県内から、「サステナアワード2022」を受賞されたアグリガーデンスクール&アカデミー（AGSA）が取り上げられています。福岡県拠点は、引き続きAGSAをはじめとする関係機関と連携して有機農業の拡大に取り組んでまいります。

*詳細はこちら → <https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/honbu.html>



「ふくおか&MAFF」は皆様に支えられ、昨年、第50号の節目を迎えました。新年を機に、皆様のご期待により一層お応えする誌面の作成に努めてまいります。今後とも、「ふくおか&MAFF」をよろしくお願いいたします。

【お問合せ先】

九州農政局福岡県拠点地方参事官室
〒812-0018 福岡県福岡市博多区住吉3-17-21 TEL 092-281-8261（代表）
<https://www.maff.go.jp/kyusyu/fukuoka/index.html>

